

# III

## 2030年度に向けた基本目標

- 1 基本目標
- 2 進捗管理指標

### Ⅲ 2030年度に向けた基本目標

#### 1 基本目標

「危機に強い愛知」を始め「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」、「世界から選ばれる魅力的な愛知」といっためざすべき愛知の姿を見据え、今後10年の地域づくりに着実に取り組んでいく必要がある。

目標年度である2030年度に向けては、2022年秋の開業をめざすジブリパークや2026年のアジア競技大会、2027年度のリニア中央新幹線などの数多くのビッグプロジェクトを着実に進め、地域の更なる発展につなげていくとともに、これらを最大限活かして、イノベーションを創出する好循環を生み出すことで、将来にわたって、日本の成長をリードし続ける愛知を形づくっていく。

また、目標年度を同じくするSDGsの達成に向けては、暮らし・経済・環境の3側面の調和を図り、持続可能な社会を実現していく。

あわせて、現在も県民の生活や経済活動に深刻な影響を与えている、新型コロナウイルス感染症の危機の克服に全力で取り組み、これを乗り越えていく。

こうした考えのもと、2030年度に向けた基本目標を、以下のとおり設定する。この目標に向けて、愛知が一丸となって、地域づくりに取り組んでいく。

## 暮らし・経済・環境が調和した 輝くあいち

～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～

## 2 進捗管理指標

基本目標の達成に向けた進捗を評価するための進捗管理指標を以下のとおり定め、数値目標を設定する。また、「重要政策の方向性」ごとに進捗管理指標を設定し、進捗を計る際の参考とする。



進捗管理指標	数値目標	現状
〈暮らし〉県民の幸福感(10点満点)	平均6.5点超の維持(~2030年度) (過去4回の平均(6.5点)超えの維持をめざす。)	5.7点(2013年度) 6.3点(2015年度) 7.2点(2017年度) 6.7点(2019年度)
〈経済〉県内総生産の国内総生産に対するシェア	7.7%程度(2030年度) (世界同時不況前の7.6%を上回り、東京に次ぐ全国2位の維持をめざす。)	7.4%(2017年度)
〈環境〉温室効果ガスの総排出量の削減率(2013年度比)	26%削減(2030年度) (国・県の施策による削減効果を踏まえ、26%の減少をめざす。)	1.0%削減(2017年度)